

H29. 2. 21 意見交換会 アンケート集計結果

【開催結果概要】

参加者 28名

うちアンケート提出者27名

【アンケート集計結果】

1. 意見交換会開催を知ったきっかけについて（複数回答可）

項目	人数
議会だより	4名(14.8%)
市議会ホームページ	2名(7.4%)
フェイスブック	5名(18.5%)
町会の回覧	3名(11.1%)
議員からの呼びかけ	6名(22.2%)
市新聞広報	0名(0.0%)
新聞記事	1名(3.7%)
その他	9名(33.3%)
未記入	1名(3.7%)

その他：チラシ（6名）、卯辰山工房（2名）、友人・知人（1名）

2. 意見交換会に参加した回数について

平成28年度

	初めて	3回目	記載なし
人数	21名 (77.8%)	1名 (3.7%)	5名 (18.5%)

（参考）平成27年度 1回・1名、平成26年度 2回・1名

3. 意見交換会の感想について

項目	人数
大変よかった	6名(22.2%)
よかった	14名(51.9%)
よくなかった	0名(0.0%)
全くよくなかった	0名(0.0%)
未記入	7名(25.9%)

4. 参加者について

(1) 地区

地区名	人数
東部地区	9名(33.4%)
西部地区	5名(18.5%)
南部地区	2名(7.4%)
北部地区	6名(22.2%)
市外	1名(3.7%)
回答なし	4名(14.8%)

(2) 年齢

	人数
20歳未満	0名(0.0%)
20歳代	3名(11.1%)
30歳代	4名(14.8%)
40歳代	8名(29.6%)
50歳代	4名(14.8%)
60歳代	4名(14.8%)
70歳代	2名(7.5%)
80歳以上	1名(3.7%)
未記入	1名(3.7%)

(3) 性別

	人数
男性	14名(51.9%)
女性	11名(40.7%)
未記入	2名(7.4%)

【意見】

[テーマについて]

- ・金沢の文化の人づくりに関して、専門家や市民の貴重なお話を聞くことができ良かったです。
- ・この場にこのメンバーを集め、この会を開いた意義が理解できなかった。内容についても、これがどう生かされるのか疑問である。
- ・様々な意見が聞けてよかったが、そこからどう変化していくのか、今後の動きを知りたい。意見は交換できていない。

- ・ 色々な方の話を聞くことが出来、とても刺激的でした。もっとたくさん聞きたい
- ・ 美大や美術館がまだまだ有効に機能する余地がいくらでもあると思っています。中途半端な作家という言葉が出ましたが、そういうクラスの人々の存在も（が）とても重要です。優秀な美大の卒業生が逃げてしまう街ではなく、日本中（世界中）からクリエイターが目指してやってくるような都市にならないといけません。その為には単に伝統や工芸にばかりこだわってはいけません。このテーマの意見交換会、第2回目に期待します。
- ・ 川本館長の「子どもに工芸を教育の段階で触れさせる」意見に賛成である。また若い作家の販路拡大の取組に支援を拡充すべき。
- ・ もっと意見交換したい、職人をつくれ。
- ・ 金沢の文化の基礎等、詳しく説明があり、時代を通して発展した事がよくわかりました。
- ・ 時間配分を工夫してほしい。
- ・ 作り手の話が長すぎる。小規模校にも専門の先生を、川本先生のラストの話をしてほしいです。
- ・ 意見交換の時間が短くて残念でした。
- ・ 本物の技術を持った人の育成、職人の育成が大切だと感じます。その技術を持った上での、新しいコラボレーションは大変期待したいが、技術がないのでは、工芸の質が落ちてしまうと思います。
- ・ 工芸の部分を知るのに良い時間だったと思います。
- ・ 面白いテーマだと思います。もう少し意見交換の時間があった方がよかったのではないかと思います。卯辰山工芸工房は車がない人間にとっては、来るのが大変な場所なのでもう少し来やすい場所ならよかったかもしれない。
- ・ 作家をされている方、それを販売しておられる方、工房の館長さんなど工芸に様々な関わりがある方のお話が聞けてよかったです。また、市民の方からの意見も自分の立場から考えて発表されているのも、とてもよいと思いました。
- ・ 意見の交換が出来ていなかった。
- ・ 金沢の教育の現場に1年いましたが、金沢市のすばらしい文化政策を知る機会は一度もありませんでした。文化の精神性を学ぶはずの教育現場は、精神疲労の場でした。（元美術教師）

【今後聞きたいテーマ】

- ・ “百工比照”の展示等、開催されるのはいつ頃、どこでか
- ・ 文化政策について